

科目名		海外地理						
科目名(英)								
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	大岡 牧代			
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験				
対象学科・学年		エアライン科 2年						
授業概要		航空業界をはじめ、交通・運輸関連業界で働くうえで、海外の観光地理知識は必須である。 この授業では、どのようなものが観光資源となり得るのかを理解し、日本からの渡航者が多い国々の観光地理についての知識を習得する。						
授業形態		講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標		
	○					ヨーロッパ・アメリカ・オセアニア・アジア主要国の位置と首都が把握できている。		
	○					上記主要国の主要都市・主要空港が把握できている。		
		○				世界遺産や料理、伝統行事など、観光資源になり得るものを説明することができる。		
	○					上記主要国の観光資源を1か国につき10以上挙げることができる。		
				○		各国の文化や歴史に興味を持ち、理解しようと努めることができる。		
テキスト・教材 参考図書		大原出版「旅行業務取扱管理者試験 標準テキスト 1 観光地理＜国内・海外＞」						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示			
	1	観光資源とは／海外観光地理学習のポイント			興味・関心のある国に、どのような観光資源があるか調べてみること。(0.5時間)			
	2	世界の六大州と主要国／海外旅行関連データの分析			六大州とそれぞれの主要国の位置を地図帳等で確認すること。(0.5時間)			
	3	ヨーロッパの観光資源① — イタリア			授業で出てきた都市・街を地図帳等で確認し、配付する白地図に書き入れること。(0.5時間)			
	4	ヨーロッパの観光資源② — フランス			授業で出てきた都市・街を地図帳等で確認し、配付する白地図に書き入れること。(0.5時間)			
	5	ヨーロッパの観光資源③ — スペイン			授業で出てきた都市・街を地図帳等で確認し、配付する白地図に書き入れること。(0.5時間)			
	6	ヨーロッパの観光資源④ — イギリス			授業で出てきた都市・街を地図帳等で確認し、配付する白地図に書き入れること。(0.5時間)			
	7	ヨーロッパの観光資源⑤ — ドイツ			授業で出てきた都市・街を地図帳等で確認し、配付する白地図に書き入れること。(0.5時間)			
	8	アメリカの観光資源① — 北アメリカ(アメリカ合衆国)			授業で出てきた都市・街を地図帳等で確認し、配付する白地図に書き入れること。(0.5時間)			
	9	アメリカの観光資源② — 北アメリカ(カナダ・メキシコ)			授業で出てきた都市・街を地図帳等で確認し、配付する白地図に書き入れること。(0.5時間)			
	10	アメリカの観光資源③ — 南アメリカ(ブラジル・ペルー)			授業で出てきた都市・街を地図帳等で確認し、配付する白地図に書き入れること。(0.5時間)			
	11	アジアの観光資源① — 東アジア(中国・台湾・韓国)			授業で出てきた都市・街を地図帳等で確認し、配付する白地図に書き入れること。(0.5時間)			
	12	アジアの観光資源② — 東南アジア(タイ・ベトナム)			授業で出てきた都市・街を地図帳等で確認し、配付する白地図に書き入れること。(0.5時間)			
	13	アジアの観光資源③ — 南アジア(インド)			授業で出てきた都市・街を地図帳等で確認し、配付する白地図に書き入れること。(0.5時間)			
	14	オセアニアの観光資源 — オーストラリア			授業で出てきた都市・街を地図帳等で確認し、配付する白地図に書き入れること。(0.5時間)			
	15	主要国の基礎データと観光資源のまとめ			授業で出てきた主要国の首都・通貨・公用語などを確認し、後期学習範囲の復習をすること。(2時間)			
評価方法		(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)課題提出を1回課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		定期試験	◎	◎				70%
		課題	◎	○		◎		30%
履修上の注意		出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	接客手話B						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	平嶋 光希
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	手話応用編 前期で学んだ基礎表現を活かし、具体的な表現を学び豊かなコミュニケーション力を身に付ける。また、実践的な手話表現を習得し、航空業界においてお客様に適切な表現ができるよう、手話検定4級の取得を目指し学んでいく。						
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					聴覚障がいの基礎知識を学び、説明することができる	
	○					聴覚障がいの生活について理解を深め、説明することができる	
		○				前期で学んだ手話の基礎を活かし、日常生活で応用し実践することができる	
		○				お客様との会話を想定した接客手話を学び、実践することができる。	
テキスト・教材 参考図書	手話技能検定(4級)プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	前期の復習 4-5都道府県 4-6動詞					
	2	動詞を使って表現しましょう					
	3	地名を使って表現しましょう					
	4	4-1人間・食べ物・動物					
	5	例文4-1					
	6	4-2生活・スポーツ・感情・趣味・乗り物					
	7	例文4-2					
	8	4-3形容詞・副詞					
	9	例文4-3					
	10	4-4社会・施設					
	11	例文4-4					
	12	復習 ①～③ 小テスト読取					
	13	復習 ④～⑥ 小テスト読取					
	14	手話技能検定4級					
	15	実技テスト(接客)					
評価方法	(1)授業の中で小テストを実施する。(筆記・実技) (2)レポートを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト(筆記)	◎	○				30%
	小テスト(実技)		◎				60%
	レポート				◎		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	エアラインサービスマナーⅡ										
科目名(英)											
単位数	1単位		時間数	15時間		担当者	平田 かおり / 宮崎 みゆき				
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	国際線グランドスタッフとして勤務				
対象学科・学年	エアライン科 2年										
授業概要	1年次で習得した日本語での旅客対応の基礎をもとに、2年次では英語や中国語、韓国語でお客様とコミュニケーションをとる。国際線チェックインを想定した接客マナースキルコンテストを実施し、様々な事情があるお客様へのサービスの内容や言葉を各自で考えて、お客様に寄り添った対応ができるかを審査する。										
授業形態	講義：△		演習：○	実習：		実技：	※ 主たる形態：○ その他：△				
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
		○	○	○		航空業界にふさわしい身嗜みや立ち居振る舞いができる					
		○		○		英語や韓国語、中国語で搭乗手続きを行うことができる					
	○	○		○		空港カウンターでの搭乗手続きの基本的な流れと説明内容を覚え、実践できる					
		○		○		それぞれの事情をお持ちのお客様に合わせた対応と声掛けができる					
テキスト・教材 参考図書	『ANAグランドスタッフ入門』『JALグランドスタッフ入門』イカロス出版、オリジナルプリント、各航空会社HP										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	コンテスト趣旨説明、1年次の振り返り					事前に空港カウンターでの搭乗手続きの一連の流れについて調べてくること。(1時間)				
	2	国際線搭乗手続きについて(基本の流れ)					前回学んだことを復習し、実践練習をしてくること。(1時間)				
	3	旅客ケース①(ビジネス旅客、高齢者の対応)					前回学んだことを復習し、実践練習をしてくること。(1時間)				
	4	旅客ケース②(お子様一人旅、赤ちゃん連れ旅客の対応)					前回学んだことを復習し、実践練習をしてくること。(1時間)				
	5	ロールプレイ(ペアでの練習・振り返り)					前回学んだことを復習し、実践練習をしてくること。(1時間)				
	6	リハーサル					前回学んだことを復習し、実践練習をしてくること。運営面での役割を把握しておくこと。(1時間)				
	7	接客マナースキルコンテスト(予選)					前回学んだことを復習し、実践練習をしてくること。運営面での役割を把握しておくこと。(1時間)				
	8	接客マナースキルコンテスト(本選)					前回学んだことを復習し、実践練習をしてくること。運営面での役割を把握しておくこと。(1時間)				
	9										
	10										
	11										
	12										
	13										
	14										
	15										
評価方法	接客マナーコンテスト(予選)での実技を、チェックシートに基づいて評価する。 (身嗜み、立ち居振る舞い、言葉遣い、搭乗手続きの基本対応、旅客に寄り添った声掛けなど) 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。										
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	接客マナースキルコンテスト			○	○	○		100%			
履修上の注意	航空業界にふさわしい身嗜みで参加すること(スーツ・スカーフ着用)。										

科目名	ビジネス実務									
科目名(英)										
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		宮崎 みゆき	
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験		国際線グランドスタッフとして勤務	
対象学科・学年	エアライン科 2年									
授業概要	就業を目前に、現場に適応した具体的かつ上級のマナーとビジネス知識を習得する。									
授業形態	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
	○	○		○		仕事に対しての基本意識を理解し、日頃の生活から実践することができる。				
	○	○		○		様々な場面におけるマナーについて理解し、実践することができる。				
	○	○		○		冠婚葬祭のマナーに関する基礎知識を習得し、実践することができる。				
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	仕事に対しての8つの基本意識					事前に指示した課題に取り組んでおくこと。 (1時間)			
	2	愛される新入社員とは(OJT時のマナー、先輩への挨拶等)					事前に指示した課題に取り組んでおくこと。 (1時間)			
	3	敬語の遣い方、好印象をもたれる話し方・質問の仕方					事前に指示した課題に取り組んでおくこと。 (1時間)			
	4	手紙の書き方・送り方					事前に指示した課題に取り組んでおくこと。 (1時間)			
	5	電話対応① 電話対応の重要性、電話の受け方					事前に指示した課題に取り組んでおくこと。 (1時間)			
	6	電話対応② 電話のかけ方、携帯電話のマナー					事前に指示した課題に取り組んでおくこと。 (1時間)			
	7	来客対応、マナー(1年生接客マナースキルコンテスト予選見学)					事前に指示した課題に取り組んでおくこと。 (1時間)			
	8	クレーム処理 難しいお客様対応、クレームの基本対応					事前に指示した課題に取り組んでおくこと。 (1時間)			
	9	ビジネス文書① 業務日報・報告書・メール・FAXの書き方					事前に指示した課題に取り組んでおくこと。 (1時間)			
	10	ビジネス文書② 社外・社交文書の書き方、郵便・配送の知識					事前に指示した課題に取り組んでおくこと。 (1時間)			
	11	お茶出し①					事前に指示した課題に取り組んでおくこと。 (1時間)			
	12	お茶出し②					事前に指示した課題に取り組んでおくこと。 (1時間)			
	13	冠婚葬祭のマナー					事前に指示した課題に取り組んでおくこと。 (1時間)			
	14	お金の知識(給料明細の見方、税金)					事前に指示した課題に取り組んでおくこと。 (1時間)			
15	キャリアプラン					事前に指示した課題に取り組んでおくこと。 (1時間)				
評価方法	(1)課題を数回実施する。 (2)授業内でシチュエーションに応じたロールプレイを数回実施する。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	提出物		○	○				80%		
	実技			○		○	○	20%		
履修上の注意										

科目名	ユニバーサルマナー						
科目名(英)	Universal Manner						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	平田 かおり
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	国内航空会社にて国際線グランドスタッフとして勤務
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科 トラベル科 ホテル・リゾート科 2年						
授業概要	超高齢社会にある日本において公共機関、交通機関、商業施設、レジャー施設、観光施設などあらゆる接客・接遇の場面で、多様性と向き合い、全ての人が安心して暮らしていけるサービスが必要である。この授業では、自分のできることや自分の役割を常に意識し、自発的に様々な人に関わり、円滑なコミュニケーションと快いサポートが提供できるようになるスキルの習得を目指す。						
授業形態	講義：△		演習：○	実習：△	実技：△	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					超高齢社会の日本の現状を学び高齢者体験を通して高齢者の心身の状況を説明できる。	
			○			肢体不自由者の状態を学び、それぞれに応じた適切なサポートができるようになる。	
			○			車椅子の基本的な操作方法を学び、手順書を見ずにサポートできるようになる。	
			○			視覚障がい者の状態と環境を学び、体験を通し介助の仕方を工夫して提供できるようになる。	
		○				聴覚障がい者の状態と環境を学び、相手に合った介助の仕方を理解し説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	超高齢社会の日本の現状				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	2	高齢者介助 ー高齢者の現状				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	3	高齢者介助 ー高齢者の心身の変化				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	4	高齢者介助 ー高齢者とのコミュニケーション				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	5	肢体不自由者 ー肢体不自由者とは				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	6	肢体不自由者 ー車椅子介助の操作演習				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	7	肢体不自由者 ー車椅子介助の操作演習				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	8	肢体不自由者 ー車椅子介助の操作演習				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	9	肢体不自由者 ー車椅子介助の実技試験				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	10	視覚障がい者 ー視覚障がい者とは				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	11	視覚障がい者 ー視覚障がい者介助演習(目隠し歩行)				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	12	視覚障がい者 ー視覚障がい者演習(目隠し歩行)				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	13	聴覚障がい者 ー聴覚障がい者とは				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	14	補助犬、ユニバーサルデザイン、様々なマーク				本日の授業内容を復習しておくこと(0.5時間)	
	15	総まとめ・レポート課題					
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)レポート、課題プリントの提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業中の実技試験			◎	◎		50%
	レポート提出	○	◎		◎		50%
履修上の注意							

科目名	英語検定(TOEIC)対策ⅡB										
科目名(英)	TOEIC Test StrategiesⅡB										
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		和田 菜穂 / 野々村 賢一		
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験				
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科 海外ビジネス科 トラベル科 ホテル・リゾート科 2年										
授業概要	国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるAレベル・TOEIC860点以上のスコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。										
授業形態	講義：○		演習：△		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
	○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・自分の業務に関連する議論の流れ、結論の理由が理解できる。 ・新製品がどういった点で従来のものよりも優れているのかについての説明を理解できる。					
	○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・ラジオのニュース番組で、最初にアナウンサーが言う主なニュース項目を理解できる。 ・自分の専門分野での発表やプレゼンテーションを聞いて理解できる。					
テキスト・教材 参考図書	TOEICテスト完全攻略リーディングVol1、2、Word Power4500、Listening Box for TOEIC他										
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
	1	導入、夏休み明け復習テスト、解答＆解説									
	2	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	3	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	4	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	5	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	6	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	7	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	8	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	9	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	10	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	11	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	12	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	13	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	14	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	15	中間テスト、解答＆解説					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	16	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	17	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
18	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。					

	19	TOEIC対策 Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	20	TOEIC対策 Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	21	TOEIC対策 Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	22	TOEIC対策 Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	23	TOEIC対策 Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	24	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	25	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	26	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	27	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	28	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	29	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	30	定期試験対策 学期総括	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)TOEICを学期末に実施する。 評価方法は730点取得で100%、650点取得で95%、600点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 (3)単語テストを複数回実施し、評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC	◎	○				30%
	単語テスト	◎	○		○		10%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定(2級)対策ⅡB				
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies ⅡB				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	岡本 彩
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	大学の研究センターにて海外の大学との連携業務(留学、シンポジウム等)
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科 海外ビジネス科 トラベル科 ホテル・リゾート科 2年				
授業概要	これまで身につけてきた英語の基礎力を様々な分野で応用できるようにするためには、日頃から幅広い内容の英語に多く触れ、それらを理解していく必要がある。この授業では、学校や仕事、趣味といった身近なものから文化や歴史、環境問題など多岐にわたるテーマに沿って学び、社会生活に必要な英語を使えるようになることを目指す。				
授業形態	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			目標 説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)
	○	○			社会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)
	○	○			事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)
	○	○			与えられた話題について即興で話したり、聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。また、説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができる。(話す)
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション(授業の進め方、リスニングトレーニング)			
	2	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	英検本試験解説①			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	英検本試験解説②			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	TOEIC語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	TOEIC語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	TOEIC語彙、Part5、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	オリエンテーション(授業の進め方、リスニングトレーニング)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

	25	英検ライティング、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	26	英検ライティング、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	英検ライティング、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	英検模試(筆記)	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	英検模試(リスニング)、筆記解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	後期のまとめ	前回の復習を行って授業に臨むこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定(準2級)対策ⅡB				
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies ⅡB				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	中山 久豪
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	塾講師、英語講師
対象学科・学年	エアライン科 エアポート科 海外ビジネス科 トラベル科 ホテル・リゾート科 2年				
授業概要	これまで身につけてきた英語の基礎力を様々な分野で応用できるようにするためには、日頃から幅広い内容の英語に多く触れ、それらを理解していく必要がある。この授業では、学校や仕事、趣味といった身近なものから文化や歴史、環境問題など多岐にわたるテーマに沿って学び、社会生活に必要な英語を使えるようになることを目指す。				
授業形態	講義： ○	演習： △	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
	○	○			
目標					
説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)					
会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)					
事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)					
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	オリエンテーション、ディクテーション、音読、英検リーディング(短文の語句空所補充)			
	2	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	3	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	4	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	5	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	6	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	7	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	8	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	9	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	10	英検模擬試験			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	11	英検模擬試験			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	12	英検本試験解説			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	13	英検本試験解説			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	14	英検リーディング短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	15	英検リーディング短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	16	英検リーディング短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	17	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	18	英検二次対策 スピーキング／英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	19	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	20	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	21	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	22	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	23	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	24	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	25	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと

麻生外語観光＆ブライダル専門学校 シラバス

	26	英検ライティング、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	英検模擬試験 問題1 リスニング 解答&解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	英検模擬試験 問題1 リスニング 解答&解説	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	後期まとめおよび期末試験対策	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語ⅡB						
科目名(英)	General EnglishⅡB						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	岡本 彩
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	大学の研究センターにて海外の大学との連携業務 (留学、シンポジウム等)
対象学科・学年	エアライン科 英語コミュニケーション科 海外ビジネス科 2年						
授業概要	国際的なステージで求められる英語運用能力を付けるためにTOEICリーディングの対策を行う。TOEICスコア730点以上を目指し、この授業では、730点レベルの語彙力醸成とPart7問題へのアプローチ方法を学び、実践での対応力を培っていく。						
授業形態	講義: ○		演習: △		実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				品詞を見分け、文章の構造が理解できる	
	○	○				文書の種類(メール、記事、案内文など)による、構成を理解できる	
	○	○				Q200まで解くための時間配分ができる	
テキスト・教材 参考図書	TOEIC公式問題集 他						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	オリエンテーション、目標設定シート作成					
	2	Part7「メールの問題」					指定された課題、予習を必ず行うこと
	3	Part7「メールの問題」					指定された課題、予習を必ず行うこと
	4	Part7「メールの問題」					指定された課題、予習を必ず行うこと
	5	Part7「チャットの問題」					指定された課題、予習を必ず行うこと
	6	10月TOEICの振り返り、Part7「ダブルパッセージ問題」					指定された課題、予習を必ず行うこと
	7	Part7「ダブルパッセージ問題」					指定された課題、予習を必ず行うこと
	8	Part7「トリプルパッセージ問題」					指定された課題、予習を必ず行うこと
	9	Part7「トリプルパッセージ問題」					指定された課題、予習を必ず行うこと
	10	TOEIC Reading模試①					指定された課題、予習を必ず行うこと
	11	模試①解説					指定された課題、予習を必ず行うこと
	12	TOEIC Reading模試②					指定された課題、予習を必ず行うこと
	13	模試②解説					指定された課題、予習を必ず行うこと
	14	12月TOEICの振り返り、ケンブリッジ英検模擬問題チャレンジ					指定された課題、予習を必ず行うこと
	15	後期のまとめ					指定された課題を必ず行うこと
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)学内でTOEIC(IP)を実施する。730点以上を100点、650点以上を95点、600点以上を90点、550点以上を85点、500点以上を80点、455点～495点を75点以下、405点～450点を70点、400点未満を65点以下とする。 (3)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC(IPテスト)	◎	○				20%
	小テスト	◎	○				20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。 指定された課題と予習は必ず行うこと。						

科目名	総合英語ⅡB							
科目名(英)	General EnglishⅡB							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	野々村 賢一	
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	英語講師22年	
対象学科・学年	エアライン科 英語コミュニケーション科 海外ビジネス科 2年							
授業概要	日本語の会話を英作文することで、英語のルールと成り立ちを理解することが出来る。また英作文の正解の英文を聞き、シャドーイングとディクテーションすることで、英語を聞き取る力を身に付ける。最後にその英文を音読することで、英語で発話する力を身に付ける。							
授業形態	講義：○		演習：△		実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○	○				英語のルール、文の成り立ち、構造を理解し、正確に英文を構成する力を身に付けることが出来る		
	○	○				英文を聞き、シャドーイングとディクテーションすることで、英語を聞き取る力を身に付けることが出来る		
	○	○				音読を繰り返すことで、正しい発音が身に付き、流暢に話せるようになる。		
テキスト・教材 参考図書	オリジナルテキスト							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	英会話① 英作文・ディクテーション・音読						
	2	英会話② 英作文・ディクテーション・音読					前回の授業の復習	
	3	英会話③ 英作文・ディクテーション・音読					前回の授業の復習	
	4	英会話④ 英作文・ディクテーション・音読					前回の授業の復習	
	5	英会話⑤ 英作文・ディクテーション・音読					前回の授業の復習	
	6	英会話⑥ 英作文・ディクテーション・音読					前回の授業の復習	
	7	英会話⑦ 英作文・ディクテーション・音読					前回の授業の復習	
	8	英会話⑧ 英作文・ディクテーション・音読					前回の授業の復習	
	9	英会話⑨ 英作文・ディクテーション・音読					前回の授業の復習	
	10	英会話⑩ 英作文・ディクテーション・音読					前回の授業の復習	
	11	英会話⑪ 英作文・ディクテーション・音読					前回の授業の復習	
	12	英会話⑫ 英作文・ディクテーション・音読					前回の授業の復習	
	13	英会話⑬ 英作文・ディクテーション・音読					前回の授業の復習	
	14	英会話⑭ 英作文・ディクテーション・音読					前回の授業の復習	
	15	期末試験対策 これまでのまとめ					前回の授業の復習	
評価方法	(1)筆記試験による定期試験を実施する。 (2)授業中、4回のまとめテストを実施する。 (3)学内でTOEIC (IP)を実施する。470点以上を80点、400点未満を75点以下、または70点以下とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験	◎	○				60%	
	TOEICの結果	◎	○				20%	
	授業内テスト	◎	○				20%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。							

科目名	総合英語ⅡB						
科目名(英)	General EnglishⅡB						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	未定
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科 英語コミュニケーション科 海外ビジネス科 2年						
授業概要	英語の基礎となる品詞と5文型の理解を深め、様々な文法事項へ応用できる力を付ける。英語の成り立ちと英語が訳せない理由を把握することで、それを克服し、勤や、感覚に頼らず論理的に英文を訳せるようになる。また英文解釈にとどまらず、TOEICのPart5に応用できる力を付ける。						
授業形態	講義：○		演習：△	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				品詞の役割と英文構造を理解することができる。	
	○	○				5文型を使い分けることができる。	
	○	○				正しい品詞と文型、また時制を使用し、単文、重文、複文を作ることができる。	
	○	○				文法問題やTOEIC Part5への応用ができる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナル学習プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション、品詞概要、文中での役割					
	2	自己紹介／5文型とは／第二文型 導入				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	3	第三文型・第一文型 導入				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	4	第四文型・第五文型 導入				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	5	第二文型・第三文型 復習				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	6	第一文型・第四文型 復習				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	7	第五文型 復習				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	8	五文型確認テスト				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	9	TOEIC Part5 演習				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	10	TOEIC Part5 演習				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	11	TOEIC Part5 演習				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	12	TOEIC Part5 演習				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	13	TOEIC Part5 演習				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	14	TOEIC Part5 演習				前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	15	期末テスト前復習				前回の復習を行って授業に臨むこと	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)学内でTOEIC (IP)を実施する。730点以上を100点、650点以上を95点、600点以上を90点、550点以上を85点、500点以上を80点、455点～495点を75点以下、405点～450点を70点、400点未満を65点以下とする。 (3)授業内で小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC(IP)検定試験	◎	○				20%
	小テスト	◎	○				20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語ⅡB						
科目名(英)	General EnglishⅡB						
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	未定
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科 英語コミュニケーション科 海外ビジネス科 2年						
授業概要	前期の学習内容を踏まえ、更に複雑な文法力を身に付ける。 語彙力を向上させ、英検準2級レベルの英作文が作れるようになる。						
授業形態	講義：○		演習：△		実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				英文読解に必要な基本的文法が理解できる。	
	○	○				不定詞や動名詞、分詞を使い分けて、適切な英文を作ることができる。	
	○	○				関係代名詞を使用した英文を作ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	高校英文法をひとつひとつわかりやすく。						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1	前期復習 品詞、5文型					
	2	前期復習 完了形、受動態					前回の授業の復習
	3	不定詞①					前回の授業の復習
	4	不定詞②					前回の授業の復習
	5	不定詞③					前回の授業の復習
	6	動名詞①					前回の授業の復習
	7	動名詞②					前回の授業の復習
	8	動名詞③					前回の授業の復習
	9	分詞①					前回の授業の復習
	10	分詞②					前回の授業の復習
	11	関係代名詞①					前回の授業の復習
	12	関係代名詞②					前回の授業の復習
	13	関係代名詞③					前回の授業の復習
	14	関係代名詞④					前回の授業の復習
	15	期末試験対策(まとめ)					前回の授業の復習
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)学内でTOEIC(IP)を実施する。730点以上を100点、650点以上を95点、600点以上を90点、550点以上を85点、500点以上を80点、455点～495点を75点以下、405点～450点を70点、400点未満を65点以下とする。 (3)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC(IPテスト)	◎	○				20%
	小テスト	◎	○		○		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語ⅡB							
科目名(英)	General EnglishⅡB							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	中山 久豪	
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	塾講師、英語講師	
対象学科・学年	エアライン科 英語コミュニケーション科 海外ビジネス科 2年							
授業概要	英語の基礎となる品詞と5文型の理解を深め、様々な文法事項へ応用できる力を付ける。英語の成り立ちと英語が訳せない理由を把握することで、それを克服し、勤や、感覚に頼らず論理的に英文を訳せるようになる。また英文解釈にとどまらず、TOEICのPart3,4,5に応用できる力を付ける。							
授業形態	講義：○		演習：△		実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○	○				品詞の役割と英文構造を理解することができる。		
	○	○				5文型を使い分けることができる。		
	○	○				正しい品詞と文型、また時制を使用し、単文、重文、複文を作ることができる。		
	○	○				文法問題やTOEIC Part5への応用ができる。		
テキスト・教材 参考図書	オリジナル学習プリント							
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示	
	1	オリエンテーション、品詞概要、文中での役割						
	2	自己紹介／5文型とは／第二文型 導入					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	3	第三文型・第一文型 導入					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	4	第四文型・第五文型 導入					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	5	第二文型・第三文型 復習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	6	第一文型・第四文型 復習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	7	第五文型 復習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	8	五文型確認テスト					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	9	TOEIC Part3,4,5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	10	TOEIC Part3,4,5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	11	TOEIC Part3,4,5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	12	TOEIC Part3,4,5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	13	TOEIC Part3,4,5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	14	TOEIC Part3,4,5 演習					前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	15	期末テスト前復習					前回の復習を行って授業に臨むこと	
評価方法	1) 学内でTOEIC (IP) 検定試験を実施。 730点以上を100点、650点以上を95点、600点以上を90点、550点以上を85点、500点以上を80点、455点～495点を75点以下、450点未満を70点以下とする。 2) 定期試験(筆記)を実施する。 3) 小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S (90点以上)・A (80点以上)・B (70点以上)・C (60点以上)・D (59点以下) とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験	◎	○				60%	
	TOEIC(IP)検定試験	◎	○				20%	
	小テスト	◎	○				20%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。							

科目名	Airline English II B									
科目名(英)	Airline English II B									
単位数	2単位		時間数		30時間		担当者		未定	
実施年度	2023年度		実施時期		後期		担当者実務経験			
対象学科・学年	Airline 2									
授業概要	1. Raise students' English proficiency 2. Give students more confidence in using English 3. Workplace related English skills									
授業形態	講義: △		演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○					Raise students' English proficiency				
	○					Give students more confidence in using English				
	○					Workplace related English skills				
テキスト・教材 参考図書	Speakout Elementary Book1									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	Introductions / Summer Vacation					none			
	2	9.3 Sorry I'm Late					Preview lesson materials and review previous lesson			
	3	9.4 Teacher's Lesson or Airport					Preview lesson materials and review previous lesson			
	4	9.5 Review					Preview lesson materials and review previous lesson			
	5	10.1 Life's a Lottery					Preview lesson materials and review previous lesson			
	6	10.2 Survive!①					Preview lesson materials and review previous lesson			
	7	10.2 Survive!②					Preview lesson materials and review previous lesson			
	8	Teacher's lesson or 10.4 Wild Weather					Preview lesson materials and review previous lesson			
	9	10.5 Lookback					Preview lesson materials and review previous lesson			
	10	11.1 I don't feel well					Preview lesson materials and review previous lesson			
	11	11.2 One thing at a time					Preview lesson materials and review previous lesson			
	12	11.3 Help!					Preview lesson materials and review previous lesson			
	13	Teacher's less or 11.4 Fat or sugar					Preview lesson materials and review previous lesson			
	14	Review and Practice for Speaking Test					Preview lesson materials and review previous lesson			
	15	Speaking Test					Review previous lesson material			
評価方法	Students evaluation: (1) Test - 50% (2) Class participation - 25% (3) Attendance - 25 % The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験 Semester End Exam		○	○		○		50%		
	小テスト In-class Tasks		○	○		○		50%		
履修上の注意										

科目名	韓国語ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	盧 愛蓮
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	韓国の言葉、読み書き習得を中心に就職活動に役立つよう実力を身につけさせると共に、最も近い隣国である韓国への理解や文化の違いなどを盛り込み、国際人としての見識も備わるよう指導する。						
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常会話だけでなく、就職においても役立つ語学力を習得し実践できる。	
	○	○				簡単な日常会話を話せるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	基礎から学ぶ韓国語						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	前期学習分 総おさらい その1					
	2	前期学習分 総おさらい その2 9課へ					
	3	9課 漢数詞					
	4	10課 固有数詞					
	5	漢数詞、固有数詞のまとめ					
	6	11課 尊敬形の学習					
	7	12課 ～行きません否定形					
	8	13課 過去形					
	9	中間まとめ 否定形、過去形					
	10	14課 勧誘の表現					
	11	気候、自然についての単語 15課 現在進行形					
	12	16課 可能、不可能の表現					
	13	16課 続き 身体 の名称等					
	14	17課 ～がしたいの表現					
	15	18課 ～してもよいですかの表現					
評価方法	1. 授業中に小テストを数回実施する。 2. 実力に抜きん出ている生徒等は授業の他に検定試験に向けての指導をする。過去問題等を解かせたり、先に進めて別テストを行う 3. 授業中に小テストを期末テストと合わせ、平常点として加算する。 4. 成績評価 S(90点以上) A(80点以上) B(70点以上) C(60点以上)D(50点以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テストや授業態度	◎	○	○	○		50%
履修上の注意							

科目名	中国語ⅡB							
科目名(英)								
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	王 波	
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験		
対象学科・学年	エアライン科 2年							
授業概要	簡単な例文を朗読で大量に学ぶことで、無理なく楽しく文法を再確認しながら、活用できる表現の幅を広げていく。単語、フレーズ、文章、伝達しようとする内容が中国語で自然に口をついて出てくるようになることを目標とする。							
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標		
	○	○				中国語の語彙を増やし、文法を理解し実践できるようになる。		
	○	○	○			簡単な日常会話ができる。		
	○	○	○			仕事の場面で使う様々な表現を覚えて、実践することができる。		
テキスト・教材 参考図書	中国語はじめての一步							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示		
	1	動詞のおさらいと形容詞を述語とする文 比較文など						
	2	形容詞の単語をマスターして、会話をする						
	3	練習プリントをする、それに基づいて自分のことを表現してみる						
	4	第5課 日付 時刻を表す表現 疑問詞						
	5	前時振り返り 一日流れの単語を中国語で言ってみよう						
	6	練習プリントをする、それに基づいて自分のことを表現してみる						
	7	中国語で私の一日を発表すると質問タイム						
	8	小テスト 第6課文法ポイントをまとめる						
	9	前回の復習 助動詞を使う表現						
	10	単語で文を作って会話、本文の解釈と朗読						
	11	練習プリントをする、それに基づいて自分のことを表現してみる						
	12	小テスト 中国語で感想を言ってみる						
	13	第5課と第6課を復習 プリント						
	14	口頭試験						
	15	学科総括						
評価方法	(1)口頭試験を実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合	
	定期試験(口頭・筆記)	○	○	○			100%	
履修上の注意								

科目名		一般教養ⅡB					
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	瀧口 恵子 / 市原 美智子		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年		エアライン科 エアポート科 トラベル科 2年					
授業概要		社会人基礎力養成として、2年間の一般教養の授業の総まとめとして実施					
授業形態		講義： ○	演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					主な国際機関について、その活動内容を理解し説明することができる	
	○					漢字検定2級程度の漢字の読み書きができる	
	○					英検準2級程度の問題に解答することができる	
	○					時事ニュースについて、その概要をまとめ説明することができる	
テキスト・教材 参考図書		プリント					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1回：漢字の知識、社会(時事、建築、用語)、英文和訳				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	2	第2回：ことわざ、社会(時事、人物、用語)				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	3	第3回：漢字の知識、社会(観光資源、地理)、英文空所補充、数学				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	4	第4回：漢字の知識、文学、歴史、数学、英文空所補充				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	5	第5回：漢字の知識、社会(歴史、用語、地理)、英語				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	6	第6回：漢字の知識、社会(用語、地理)、数学、英文和訳				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	7	第7回：漢字の知識、社会(産業、用語)、英文空所補充、数学				テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)	
	8	後期試験					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験 (2)出席状況 以上を、以下の観点・割合で評価をする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎			○		80%
	出席状況				○		20%
履修上の注意		出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。					

科目名	Excel演習						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	未定
実施年度	2023年度		実施時期	後期		担当者実務経験	
対象学科・学年	エアライン科 2年						
授業概要	企業で最も使われているソフトの1つであるExcelの操作方法を習得する。Excelは統合型表計算のソフトウェアといわれ、表計算・グラフ作成・データベース機能を持っている。テキスト「30時間でマスターExcel2019」を使ってそれらの機能機能を学習する。テキストの内容に対して授業時間数が短いので、教科書に載っている一部の機能は割愛する。最終的にExcel2019表計算処理技能認定試験3級の合格を目指す。						
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				Excelで作成ができ・印刷について正しく操作できる。	
		○				Excelでグラフの作成と編集ができる。	
		○				Excelでデータベース処理(並べ替えや抽出)ができる。	
	○					Excelで使われる正しい用語の説明ができる。	
	○	○		○		IFやVLOOKUP等の応用のページに記載されている関数を習得する。	
	○		○		Excel2019表計算処理技能認定試験3級に合格することができる		
テキスト・教材 参考図書	30時間でマスター Excel2019						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Excelの概要、データの種類と入力方法					
	2	簡単な表の作成、データのコピー、練習問題				テキスト記載の実習問題1～4の表作成を完成させる(1.5時間)	
	3	基本のグラフ作成、練習問題				テキスト記載の実習問題1～4のグラフ作成と5～6の表作成を完成させる。(1.5時間)	
	4	表の編集(表の構成・書式設定・罫線)				テキスト記載の実習問題7～10を完成させる(1.5時間)	
	5	セルの書式設定・絶対参照を使う計算				テキスト記載の実習問題11～12を完成させる(1.5時間)	
	6	関数(Σから選べる関数)・COUNTA関数・セルの保護				テキスト記載の実習問題13～16を完成させる(1.5時間)	
	7	端数処理の関数、IF関数、条件付き書式、スパークライン				テキスト記載の実習問題17～20を完成させる(1.5時間)	
	8	第8章Excelの応用に記載の関数の一部・練習問題				テキスト記載の実習問題37～40を完成させる(1.5時間)	
	9	グラフ作成(棒・折れ線・円)				テキスト記載の実習問題21～26を完成させる(1.5時間)	
	10	グラフ(3Dグラフ、複合グラフ)				テキスト記載の実習問題27～29を完成させる(1.5時間)	
	11	グラフ(ドーナツ、レーダー、散布図、絵グラフ) データベース(オートコンプリート、ふりがな機能)				テキスト記載の実習問題30～32を完成させる(1.5時間)	
	12	データベース(並べ替え・フィルタ)					
	13	印刷の設定、練習問題					
	14	練習問題					
15	期末試験実技						
評価方法	(1)テキスト「30時間でマスター Excel2019」内の実習問題を8割以上仕上げる。(毎月末、最終授業終了時にメモリ提出) (2)実技問題を期末試験とする。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	期末試験実技	○	◎	○			50%
	(2)課題提出		◎	○	◎		50%
履修上の注意	5回以上の授業出席者は評価対象となるため、早期出社等で6回目以降の授業に出ない学生は、最終出席日にメモリを提出すること。出席が10回に満たない場合は、評価はDとする。						

科目名	社会教養ⅡB				
科目名(英)					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	宮崎 みゆき
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験	国際線グランドスタッフとして勤務
対象学科・学年	エアライン科 2年				
授業概要	①各行事を通して、社会人としてのマナーを実践し、定着を図る。 ②前期に学んだ仕事への8つの基本意識をもとに、各行事の企画・運営を行う。 ③茶道の体験を通して、日本人としての感性と所作を身に付け、基本的な作法を実践できるようになる。				
授業形態	講義：△	演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
		○		○	目標
					各行事で、自身の役割を把握し、さらに工夫できることを考え発案し、実践することができる。
					仕事への8つの基本意識をもとに行動することができる。
		○		○	社会人としてのマナー、所作を身に付け実践できる。
		○	○	○	○
					茶道の基本的な作法を理解し、説明することができる。
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	接客マナースキルコンテスト運営・準備①			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	2	接客マナースキルコンテスト運営・準備②			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	3	接客マナースキルコンテスト運営・準備③			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	4	接客マナースキルコンテスト運営・準備④			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	5	接客マナースキルコンテスト運営・準備⑤			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	6	接客マナースキルコンテスト振り返り			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	7	後期スケジュール確認、目標設定			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	8	1・2年生交流会①(早期出社組決起会)			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	9	1・2年生交流会②(就職活動へのアドバイス)			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	10	後輩指導①(接客マナースキルコンテストに向けて)			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	11	後輩指導②(接客マナースキルコンテストに向けて)			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	12	テーブルマナー講座			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	13	クラスレクリエーション			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	14	茶道① オリエンテーション:和室での基本動作			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	15	茶道② 席入り 茶菓の頂き方 割り稽古 袱紗			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	16	茶道③ 席入り 割り稽古 袱紗 茶巾			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	17	茶道④ 席入り 割り稽古 袱紗 茶巾 盆略点前(1)			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	18	茶道⑤ 席入り 割り稽古 袱紗 茶巾 盆略点前(2)			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	19	茶道⑥ 席入り 炉のお点前:柄杓、蓋置、水指の扱い(1)			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	20	茶道⑦ 席入り 炉のお点前:柄杓、蓋置、水指の扱い(2)			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	21	茶道⑧ 席入り 炉のお点前:柄杓、蓋置、水指の扱い(3)			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	22	茶道⑨ 席入り 初釜			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	23	茶道⑩ まとめ、全体の流れを復習 実技テスト			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	24	出前講座①			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。
	25	出前講座②			事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。

麻生外語観光＆ブライダル専門学校 シラバス

	26	学内講座①	事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。				
	27	学内講座②	事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。				
	28	学内講座③	事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。				
	29	2年間の振り返り、社会人1年目の目標	事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。				
	30	社会人研修	事前にすべきことを確認し、班リーダーを中心に準備をすること(0.5時間)。				
評価方法	(1)行事の企画・運営を数回実施する。(2)数回、レポート課題を提出する。(3)茶道の実技試験を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	茶道実技試験		○		◎		30%
	行事運営				◎		40%
	提出物				◎		30%
履修上の注意							